

青少年 とちぎ

令和5年10月31日

第223号



CONTENTS

- 1 少年の主張県大会
- 3 青少年育成市町村民会議等全体連携会議
- 4 青少年育成指導員委嘱、育成指導員会総会
- 5 市町村民会議活動報告
- 6 親子学び合い事業
- 7 国・県の組織改編・こども基本法、賛助会員募集
- 8 賛助会員(団体)のご紹介



栃木県青少年育成県民会議
シンボルマーク

【発行】栃木県青少年育成県民会議((公財)とちぎ未来づくり財団青少年育成課)
宇都宮市本町1-8 TEL028-643-1005 FAX028-650-5284 URL: <https://www.tmf.or.jp> E-mail: ikusei@tmf.or.jp

第46回栃木県少年の主張発表県大会



栃木県少年の主張発表大会は、県内の中学生が、日常生活の中で感じていることや考えていることを発表することにより、若者としての誇りと自主性を育てるとともに、広く社会に訴えることにより、同世代への意識の啓発や青少年の健全育成に対する大人の理解と関心を深めることを目的としています。

本年度の大会には県内の中学生12,323名の応募があり、各

地区大会には各校代表の159名が参加しました。県大会は9月16日(土)に栃木県総合文化センターサブホールで開催され、8つの地区大会で選ばれた代表16名が主張を発表しました。

今回は戦争の悲惨さを語り継ぐことの大切さや生理の貧困などの世相を表すテーマ、また郷土への思いやコミュニケーションの在り方などへの提言といった現代社会の様々な課題について、中学生らしい斬新な視点からの瑞々しい主張が展開されました。

【県大会入賞者一覧】

賞	氏名	学校名・学年	題名
最優秀賞	星野 みおり	宇都宮市立宝木中学校3年	女性が毎日笑顔でいられるように
優秀賞 (発表順)	戸村 美月	大田原市立金田南中学校3年	未来につなぐ
	河俣 美羽	市貝町立市貝中学校3年	大切なもの
	板垣 結衣	那須町立那須中央中学校3年	祭りがつなぐ町
奨励賞 (発表順)	齊藤 咲弥子	鹿沼市立東中学校3年	無限の可能性
	船生 咲	芳賀町立芳賀中学校3年	無関心をやめる
	横塚 彩芽	佐野市立田沼東中学校3年	どうして歴史を学ぶのか
	鈴木 愛琉	日光市立今市中学校3年	未来を守る
	鶴田 一遙	那須烏山市立烏山中学校3年	命のリレーをつなぐために
	若田部 文香	佐野市立北中学校3年	違いをこえて
	山岡 紗蓮	さくら市立喜連川中学校3年	言葉の奥にあるもの
	宗像 文夏	宇都宮市立旭中学校3年	記憶をつなぐ
	大門 蒼空	栃木市立栃木南中学校3年	繋ぐ
	佐藤 凧紗	文星芸術大学附属中学校2年	地元を愛する心
	梅本 颯吾	小山市立大谷中学校3年	相手を想った思い込み
篠原 花音	下野市立国分寺中学校3年	IとLOVEとYOU	

最優秀賞



女性が毎日笑顔でいられるように

宇都宮市立宝木中学校3年 星野 みおり

みなさんは、「生理」「月経」と聞くと、どんなイメージを持ちますか。「恥ずかしい」「話題にしにくい」といったことを思い浮かべる人も多いことでしょう。現代の日本では、生理の話をして口にするのを、タブーとする意識が広く浸透していると思います。

しかし、それは少し違うような気がします。生理がくることは当たり前のことですし、恥ずかしいことではないからです。私は、生理になったばかりの頃、生理用品を上手に使いこなせず、困っていた時期がありました。生理をタブー視する風潮から、なかなか友人や先生に相談できませんでした。また、生理痛の重い私の友人は、腹痛や頭痛を感じながらも、男性の先生になかなか言い出せず、痛みを我慢しながら授業に参加していました。このように、生理で困っていることを「困っている」と言いにくい風潮に、私は疑問を感じています。

そんな時に、私は「生理の貧困」という言葉を知りました。「生理の貧困」とは、生理用品を買うお金がない、あるいは手に入れる方法がないなど、利用できる環境にないということを示す言葉です。発展途上国のみならず、格差が広がっている先進国でも、問題になっているそうです。世界中で問題になっているにも関わらず、「生理の貧困」に対する心ない意見をインターネット上で目にしました。「どうして数百円の生理用品さえも買えないのか」という、貧しさを批判する声でした。

なぜ、このような意見が上がってしまうのでしょうか。私は、生理に対する社会全体の理解不足が大きいと思います。生理は、女性が出産をするための大切な準備です。だからこそ、男性も女性も、次世代の社会のために、生理についての正しい知識をもち、理解すべきだと思います。女性は、一人一人が自分の体について知るべきです。そして、男性には、生理の時の女性の体の変化に

ついて知ってほしいです。また、生理用品を買うことの大変さも理解してもらいたいです。たった数百円の生理用品も、年間にすると、大きな金額になります。また、急に生理になってしまった時に生理用品がないと、日常生活に支障が出ることもあるのです。

そんな時にテレビのニュース番組で、学校にも生理用品を設置する動きが広がっていると知りました。しかし、私の学校には設置されていませんでした。先生に何うと、「生理用品を無駄に使われてしまったり、いたづらをされてしまったりしたことがあったからだよ。」と仰っていました。確かにそれは良くないことです。しかし、ルールを明確にしてしっかり管理をすれば、また設置ができるのではないかと思いました。そこで、私は「校内の女子トイレに生理用品を設置する」という公約を掲げ、生徒会役員に立候補しました。急に生理になってしまって、困る人の助けになればと思ったからです。設置するだけではなく、定期的に補充をするなど、自分なりに責任をもって管理をしています。また、校内放送や生徒会朝会では、全校生徒に呼びかけを行いました。「生理をタブー視する風潮を変えたい」「生理を理解してほしい」という話をしました。初めは、生理の話題を出すことに抵抗がありましたが、誰かの役に立つと思えば、あまり気にならなくなりました。「生理用品があったから、慌てないで済んだ。助かった。」という声を聞くと、とても嬉しく思います。

こういった小さなことの積み重ねが、生理へのタブー視や不浄感を少しずつ払拭していくと私は思います。男女問わず、憚ることなく生理に関する話題ができ、誰もが生理の正しい知識を得られたら良いと思います。そして、「生理は当たり前」という意識と理解が広まる社会になることを願います。女性が毎日笑顔でいられるように。

令和5年度青少年育成市町村民会議等全体連携会議

6月6日(火)、栃木県総合文化センターにおいて「令和5年度青少年育成市町村民会議等全体連携会議」を開催しました。新型コロナウイルス感染症が5類へと引き下げられたことに伴い、各市町村民会議の代表・事務局と青少年育成関係団体の代表約80名が一堂に会しました。

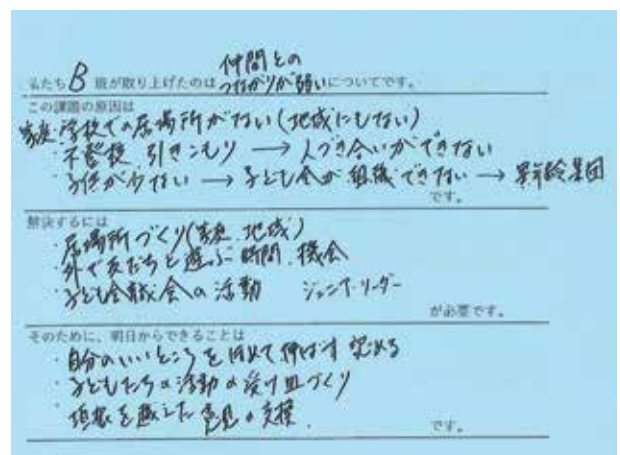
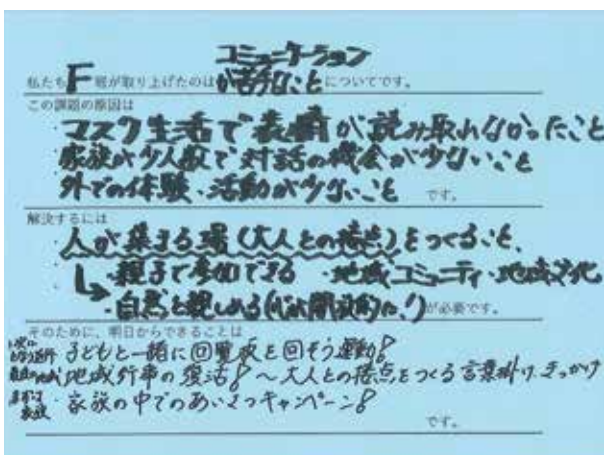
この全体連携会議は青少年育成運動の円滑かつ効果的な推進を図るために、県内全市町村民会議と青少年育成関係団体、指導者が集い、より広い運動の連携の在り方を考えるとともに、青少年育成に係る諸問題について意見交換・情報交換を行い、情報の共有を図ることを目的としています。

前半は各関係機関から今年度の事業説明を受け、また後半はグループ協議を行いました。グループ協議ではまず参加者それぞれに、現代の青少年が抱える課題として思いつくワードを書き出しました。「コミュニケーション」「つながり」「インターネット」「スマホ」「SNS」「貧困」など、コロナ禍を受けて顕在化する多様な課題が浮き彫りになりました。その中からグループでテーマを選択し、どうしたらその課題を解決できるのか、自分たちにできることは何なのかを具体的に話し合いました。それぞれの立場で、あるいは大人としてできることを確認することができました。

○グループ協議の様子



○グループ協議記録用紙（一例）



この会議の一番の目的は、参加者の「連携」を図ることでした。青少年育成は多くの大人が協働して行う必要があります。この会議に参加した皆さんの思いが大きくなうねりとなって、栃木の子どもたちに還元されていくことを願います。

栃木県青少年育成指導員委嘱

令和5年4月21日(金)にとちぎ青少年センターにおいて、各市町から推薦された新任・再任の青少年育成指導員の方々38名に千金楽理事長から委嘱状を交付しました。また退任された8名の方には感謝状を贈呈いたしました。

本年度委嘱されました青少年育成指導員の皆さんは以下のとおりです。

宇都宮市	関口 浩	市貝町	大畑 耕兵	佐野市	小林 康男
//	古舘 聖基	芳賀町	小池 正男	//	石川 厚美
//	小林 紀夫	栃木市	青木 榮二	矢板市	岡本 美智子
//	宮崎 里和	//	福富 正浩	さくら市	小口 勤
上三川町	菱沼 里美	//	瀬下 敏明	塩谷町	廣瀬 智子
鹿沼市	川田 勉	小山市	田島 登志雄	高根沢町	徐 東恵
//	竹澤 恵子	//	中村 佐利子	大田原市	伊藤 三良
日光市	石川 茂	下野市	伊澤 三華子	//	佐藤 富夫
//	齊藤 佳子	壬生町	戸崎 裕司	那須塩原市	柳場 美枝子
真岡市	和田 紘一	野木町	野田 光典	//	橋本 秀晴
//	豊田 征巳	足利市	古川 克美	那須町	渡邊 政信
益子町	小倉 周次	//	高畑 真朱美	那須烏山市	小堀 重光
茂木町	佐藤 亘			那珂川町	高堀 孝男

栃木県青少年育成指導員会総会

栃木県青少年育成指導員委嘱状交付式に引き続いて、令和5年度の栃木県青少年育成指導員会総会が開催されました。

青木会長の司会で、昨年度の事業報告や今年度の計画などについての提案があり、原案通り可決されました。また、新しい役員が選出されました。

その後、休憩をはさんで、第1回自主研修会が行われました。過去3年間、コロナ禍のため対面での話し合いがなかなかできなかったので、今回は県北・県央・県南と地区ごとに分かれて自己紹介と意見交換を行いました。各地区とも、青少年育成の現状や課題をめぐって活発な意見交換が行われました。



市町村民会議活動報告

足利市青少年育成会連絡協議会

令和5年 子どもリーダーチャレンジ

足利市青少年育成会連絡協議会では、夏休みの事業として、1泊2日の自然体験活動を実施しています。令和5年は、7月29日（土）、30日（日）に、子どもゆめ基金の助成を受けた子どもリーダーチャレンジを実施しました。

今年は、国立赤城青少年交流の家を訪れ、自然体験（アドベンチャーラリー）や野外炊飯（カレーづくり）、創作活動（まが玉づくり）を実施しました。

今年の特色としては、アドベンチャーラリーで育成会の指導者が子どもたちにアクティビティをしたり、高校生のジュニアリーダーが中心となって室内レクリエーションを楽しんだりしたことです。今回の子どもリーダーチャレンジは、大人とジュニアリーダーが育成指導者として、子ども達の成長や自然体験、成功体験そしてなにより楽しい夏休みの思い出ができるよう、精いっぱい頑張った行事でもありました。

子どもたちにとっては、コロナ禍において活動が制限されていた分、思う存分体を動かし、はしゃぎ、楽しむ機会になったのではないかと感じています。

コロナの影響もあり4年ぶりの実施となったため、運営面ではかなり大変でしたが、子どもたちの喜ぶ笑顔を見ると実施できて良かったと思えました。

【参考データ】

実施費用	：約50万円
参加者負担金	：約20万円
助成金	：約20万円（予定）
市民会議持出	：約10万円



栃木市青少年育成市民会議

栃木市は1市5町が合併した市であり、市内6地域でそれぞれ「青少年育成市民会議」を組織し、地域ごとに特色のある計画を立てて、青少年育成に関する様々な活動を行っています。各地域で下記のような活動を行っています。

- ・里山を活用した「里山ふれあい塾」を開催し、たけのこ掘りやさつまいもの収穫
- ・「子どもフェスティバル」「子ども夏祭り」「こどもたいけんフェスタ」などの開催、運営支援
- ・青少年健全育成についての標語募集、表彰
- ・「ウォークラリー大会」の開催
- ・「親子学び合い事業」の支援

子供たちと地域の方々が楽しくふれあえる交流の機会を設けることを主な活動にすることで、地域住民へ青少年の健全育成に対する意識づけも目的としています。

全地域共通した活動としては、朝のあいさつ運動や下校時のパトロールなど、見守り運動も行っています。

また、12月には市教育委員会、科学する心を育む実行委員会などと共催で、市民を対象としたスペシャルサイエンススクールを開催。科学に対する知的好奇心や探求心の向上を図り、科学技術に関する学習機会を提供しています。

小学生向けの工作教室、高校による展示、サイエンスショーなど、子供から大人まで多くの方々に参加いただいています。

今後も各地域の特性を生かしながら、さらに活動の場を広げ、「今、出来ることは何か」を常に考えながら青少年の健全育成を推進する活動を実施していきたいと考えています。



《お詫びと訂正》

「青少年とちぎ」第222号7頁「市町村民会議活動報告」のさくら市の名称に誤りがありました。正しくは、「さくら市少年指導員会」です。お詫びして訂正いたします。

親子学び合い事業～ネット時代の歩き方講習会～

「親子学び合い事業～ネット時代の歩き方講習会～」は、子どもたち一人ひとりが、インターネット・スマートフォンの危険性や利便性などの特性をしっかりと理解した上で、インターネットやスマートフォンをどのように活用して、自らの人生に役立てていくかを主体的に考える、そのきっかけになることを目的としています。本年度は、県内の小・中・義務教育学校及び特別支援学校120校で講習会を実施しています。

令和6年度の実施希望につきましては、各市町村民会議を通じて募集する予定です。講習会について詳しくは学校の所在する市町の市町村民会議もしくは当県民会議までお問い合わせください。

令和5年度「親子学び合い事業～ネット時代の歩き方講習会～」実施校(一部予定)

実施日	学校名	実施日	学校名	実施日	学校名
4月19日(水)	那須塩原市立高林小学校	7月 5日(水)	佐野市立多田小学校	9月21日(木)	日光市立東原中学校
4月24日(月)	大田原市立大田原中学校	7月 5日(水)	大田原市立金丸小学校	9月22日(金)	日光市立落合中学校
4月25日(火)	鹿沼市立東中学校	7月 5日(水)	矢板市立安沢小学校	9月27日(水)	足利市立名草小学校
4月25日(火)	上三川町立上三川中学校	7月 5日(水)	那須塩原市立黒磯中学校	9月27日(水)	塩谷町立船生小学校
5月 9日(火)	小山市立羽川小学校	7月 5日(水)	さくら市立押上小学校	10月 3日(火)	鹿沼市立石川小学校
5月10日(水)	小山市立小山城南中学校	7月 5日(水)	那須烏山市立南那須中学校	10月 4日(水)	塩谷町立塩谷中学校
5月18日(木)	小山市立東城南小学校	7月 5日(水)	那須烏山市立七合小学校	10月25日(水)	佐野市立赤見小学校
5月18日(木)	下野市立緑小学校	7月 5日(水)	上三川町立北小学校	10月25日(水)	宇都宮市立上河内中央小学校
5月23日(火)	栃木県立益子特別支援学校	7月 5日(水)	那珂川町立小川小学校	10月31日(火)	那珂川町立馬頭東小学校
5月26日(金)	小山市立大谷北小学校	7月 6日(木)	佐野市立植野小学校	11月 1日(水)	日光市立今市第二小学校
5月26日(金)	鹿沼市立みなみ小学校	7月 7日(金)	矢板市立乙畑小学校	11月 2日(木)	益子町立益子西小学校
5月31日(水)	市貝町立市貝小学校	7月 7日(金)	下野市立細谷小学校	11月 6日(月)	真岡市立亀山小学校
6月 2日(金)	佐野市立田沼東中学校	7月 7日(金)	高根沢町立上高根沢小学校	11月14日(火)	栃木市立都賀中学校
6月 7日(水)	鹿沼市立池ノ森小学校	7月10日(月)	那須塩原市立高林中学校	11月15日(水)	大田原市立紫塚小学校
6月 7日(水)	芳賀町立芳賀東小学校	7月11日(火)	栃木市立南小学校	11月16日(木)	芳賀町立芳賀南小学校
6月12日(月)	野木町立友沼小学校	7月11日(火)	日光市立藤原中学校	11月17日(金)	大田原市立親園小学校
6月13日(火)	栃木市立栃木第四小学校	7月12日(水)	佐野市立吉水小学校	11月21日(火)	宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校
6月14日(水)	矢板市立片岡小学校	7月12日(水)	真岡市立大内中学校	11月22日(水)	真岡市立物部小学校
6月16日(金)	足利市立矢場川小学校	7月12日(水)	那須塩原市立西那須野中学校	11月24日(金)	大田原市立市野沢小学校
6月21日(水)	足利市立山前小学校	7月12日(水)	下野市立南河内第二中学校	11月28日(火)	鹿沼市立菊沢東小学校
6月21日(水)	栃木市立部屋小学校	7月13日(木)	大田原市立親園中学校	11月29日(水)	足利市立小俣小学校
6月21日(水)	栃木市立三鴨小学校	7月13日(木)	下野市立国分寺中学校	11月29日(水)	大田原市立奥沢小学校
6月21日(水)	佐野市立城北小学校	7月14日(金)	足利市立青葉小学校	11月29日(水)	野木町立佐川野小学校
6月21日(水)	佐野市立西中学校	7月14日(金)	栃木市立大平南小学校	11月29日(水)	那珂川町立馬頭小学校
6月21日(水)	那須塩原市立日新中学校	7月14日(金)	那須塩原市立埼玉小学校	12月 5日(火)	日光市立小林中学校
6月23日(金)	鹿沼市立清洲第一小学校	7月14日(金)	益子町立益子中学校	12月 6日(水)	さくら市立熟田小学校
6月23日(金)	小山市立萱橋小学校	7月18日(火)	鹿沼市立北押原中学校	12月 7日(木)	小山市立乙女小学校
6月23日(金)	壬生町立壬生中学校	7月18日(火)	さくら市立氏家小学校	12月 7日(木)	市貝町立市貝中学校
6月27日(火)	壬生町立藤井小学校	7月18日(火)	栃木県立那須特別支援学校	12月 8日(金)	大田原市立金田南中学校
6月28日(水)	鹿沼市立菊沢西小学校	8月29日(火)	鹿沼市立みどりが丘小学校	12月 8日(金)	矢板市立泉小学校
6月28日(水)	日光市立南原小学校	9月 1日(金)	那須塩原市立黒磯小学校	12月13日(水)	大田原市立宇田川小学校
6月28日(水)	日光市立安良沢小学校	9月 1日(金)	さくら市立喜連川小学校	12月13日(水)	那須町立田代友愛小学校
6月28日(水)	真岡市立真岡東小学校	9月 6日(水)	矢板市立矢板小学校	12月15日(金)	佐野市立犬伏東小学校
6月28日(水)	益子町立田野小学校	9月 6日(水)	那珂川町立小川中学校	12月16日(土)	那須町立那須高原小学校
6月28日(水)	茂木町立須藤小学校	9月 8日(金)	佐野市立界小学校	1月24日(水)	さくら市立上松山小学校
6月28日(水)	宇都宮市立瑞穂野南小学校	9月13日(水)	高根沢町立西小学校	1月31日(水)	さくら市立南小学校
6月30日(金)	さくら市立喜連川中学校	9月13日(水)	宇都宮市立姿川中央小学校	2月 7日(水)	壬生町立壬生北小学校
6月30日(金)	芳賀町立芳賀中学校	9月14日(木)	鹿沼市立西小学校	2月16日(金)	芳賀町立芳賀北小学校
7月 3日(月)	佐野市立北中学校	9月15日(金)	下野市立国分寺小学校	2月20日(火)	茂木町立逆川小学校
7月 4日(火)	那須烏山市立烏山中学校	9月15日(金)	那須町立黒田原小学校	2月26日(月)	野木町立野木中学校

国・県の組織改編・こども基本法

4月1日、「こども家庭庁」が発足しました。これまで複数の省庁にまたがっていたこども政策を、「こども家庭庁」が司令塔としての役割を担うことで、こどもへの支援やこどもに関わる取組が省庁のはざままで抜け落ちることなく実施されることが期待されます。年齢や制度の壁を克服した切れ目ない包括的なアウトリーチ型・伴走型の支援、子ども・若者支援地域協議会や子ども・若者総合相談センターとの連携、ヤングケアラーの支援などを担当します。

また、栃木県の組織も改編されました。県民生活部が生活文化スポーツ部と名称が変わり、昨年度まで人権・青少年男女参画課にあった「青少年育成担当」は「青少年応援担当」として県民協働推進課の管轄になりました。

同時に4月1日に「こども基本法」が施行されました。これはこども・若者一人ひとりがとても大切な存在であり、自分らしく幸せに成長し暮らしていけるように、社会全体で取組を進めていくための基本となる事項を定めた法律です。県民会議事務局が主催で11月30日に開催する青少年育成セミナーでは、こども家庭庁の職員を講師に招き「こどもまんなか社会の実現に向けて」と題した講演会を実施する予定です。聴講を希望される方は下記まで御連絡ください。

問い合わせ先 栃木県青少年育成県民会議事務局
 ((公財)とちぎ未来づくり財団青少年育成課)
 電話 028-643-1005 FAX 028-650-5284
 E-mail ikusei@tmf.or.jp

■ 栃木県青少年育成県民会議からのお知らせ

栃木県青少年育成県民会議では広く
「県民総ぐるみで健全なとちぎの青少年を育むために」

賛助会員を募集しています

明日の“とちぎ”を担う青少年が、夢と希望を持って心豊かでたくましく成長することは、県民全ての願いです。

栃木県青少年育成県民会議では、「とちぎ心のスクラム県民運動」の主唱者として、次代の栃木県を担う青少年の健全な育成を目的とし、様々な事業を展開しています。

現在多くの賛助会員の皆様から会費をお預かりして、活動経費に充てさせていただいておりますが、より充実した活動の推進のために、更なる御支援が必要となっております。

つきましては、栃木県の青少年の健全育成のために、多くの県民の皆さまに趣旨を御理解いただき、賛助会員としてお力添えを賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和5年10月

栃木県青少年育成県民会議 理事長 千金 楽 宏

賛助会員数 (令和5年10月現在)	個人	212人
	団体	165団体
賛助会費	団体 (1口)	10,000円
	個人 (1口)	3,000円

■ 加入いただける場合は、<http://www.tmf.or.jp/youth.html>から、「賛助会員加入申込書」をダウンロードしてお申し込みください。

詳しくは (公財) とちぎ未来づくり財団ホームページをご覧ください。 <http://www.tmf.or.jp>

栃木県青少年育成県民会議賛助会員(団体)の御紹介

団体会員(50音順・敬称略) 令和5年10月現在 165団体

※個人情報保護のため個人会員(212名)の方々の掲載は控えてさせていただきます。

- 足利小山信用金庫
- 足利市更生保護女性会
- 一般財団法人 栃木県青年会館
- 一般財団法人 栃木県連合教育会
- 一般社団法人 ガールスカウト栃木県連盟
- 一般社団法人 栃木県医薬品登録販売者協会
- 一般社団法人 栃木県銀行協会
- 一般社団法人 栃木県経営者協会
- 一般社団法人 栃木県子ども会連合会
- 一般社団法人 栃木県山岳・スポーツクライミング連盟
- 一般社団法人 栃木県歯科医師会
- 一般社団法人 栃木県商工会議所連合会
- 一般社団法人 栃木県幼稚園連合会
- 一般社団法人 栃木県レクリエーション協会
- 茨城寺岡オート・ドア株式会社
- 宇都宮西ライオンズクラブ
- 宇都宮文化センター株式会社
- 栄研化学(株)那須事業所
- 栄研化学(株)野木事業所
- 王冠ボウル
- 恩賜財団 済生会宇都宮病院
- 学校法人東洋育英会 さくら総合専門学校
- 株式会社 暁恒産
- 株式会社 足利銀行
- 株式会社 アメザワ
- 株式会社 荒井モーターズ
- 株式会社 井上総合印刷
- 株式会社 エフエム栃木
- 株式会社 オヤマ
- 株式会社 小山
- 株式会社 小山商会 筑波営業所
- 株式会社 島崎酒造
- 株式会社 清水造園
- 株式会社 下野新新聞社
- 株式会社 新成エンジニアリング
- 株式会社 太陽警備保障
- 株式会社 大高商事
- 株式会社 高津製作所
- 株式会社 栃木銀行
- 株式会社 とちぎテレビ
- 株式会社 栃木ファミリー
- 株式会社 栃木放送
- 株式会社 プレーン
- 株式会社 本田技術研究所 統括機能本部 人事企画推進室 庶務・渉外ブロック
- 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷
- 株式会社 ユーテック
- 環境整備 株式会社
- 菊地歯車 株式会社
- 公益財団法人 産業雇用安定センター
- 公益財団法人 栃木県スポーツ協会
- 公益財団法人 栃木県農業振興公社
- 公益財団法人 栃木県ひとり親家庭福祉連合会
- 公益財団法人 栃木県保健衛生事業団
- 公益財団法人 日本ボーイスカウト栃木県連盟
- 公益社団法人 栃木県看護協会
- 公益社団法人 栃木県経済同友会

- 公益社団法人 栃木県獣医師会
- 公益社団法人 栃木県食品衛生協会
- 公益社団法人 栃木県防犯協会
- 佐野ガス 株式会社
- 佐野信用金庫
- 佐野地区金融団
- 下野印刷 株式会社
- 下野市議会
- 社会福祉法人 栃木県社会福祉協議会
- 社会福祉法人 蓬愛会
- 鈴運メンテック 株式会社
- 鈴木印刷 株式会社
- 滝沢ハム 株式会社
- 「小さな親切」運動栃木県本部
- 地方独立行政法人 新小山市民病院
- 中央労働金庫 栃木県本部
- 都賀総合開発 株式会社
- 東亜警備保障 株式会社
- 東海興商 株式会社
- 東京石灰工業 株式会社
- 東石建設 株式会社
- 東石リース 株式会社
- 栃木県PTA連合会
- 栃木県アミューズメント施設営業者協会
- 栃木県医師会
- 栃木県開拓農業協同組合
- 栃木県空手道連盟
- 栃木県弓道連盟
- 栃木県建設産業団体連合会
- 栃木県剣道連盟
- 栃木県興行生活衛生同業組合
- 栃木県公共図書館協会
- 栃木県更生保護女性連盟
- 栃木県高等学校PTA連合会
- 栃木県高等学校体育連盟
- 栃木県高等学校校長会
- 栃木県公民館連絡協議会
- 栃木県古書籍商組合
- 栃木県コミュニティ協会
- 栃木県市議会議長会
- 栃木県肢体不自由児者父母の会連合会
- 栃木県市長会
- 栃木県市町村教育委員会連合会
- 栃木県社会教育委員協議会
- 栃木県射的協会
- 栃木県小学校校長会
- 栃木県商工会女性部連合会
- 栃木県商工会青年部連合会
- 栃木県商工会連合会
- 栃木県職場警察連絡協議会
- 栃木県女性団体連絡協議会
- 栃木県書店商業組合
- 栃木県私立中学高等学校連合会
- 栃木県神社庁
- 栃木県信用金庫協会
- 栃木県信用保証協会
- 栃木県青少年育成アドバイザー会
- 栃木県青少年育成指導員会

皆様からの暖かい
ご支援に感謝
申し上げます。



- 栃木県青少年クラブ協議会
- 栃木県青少年指導員会連絡協議会
- 栃木県青少年団体連絡協議会
- 栃木県ソフトテニス連盟
- 栃木県ソフトボール協会
- 栃木県卓球連盟
- 栃木県たばこ販売協同組合連合会
- 栃木県地域婦人連絡協議会
- 栃木県中学校体育連盟
- 栃木県中学校長会
- 栃木県中小企業団体中央会
- 栃木県町村会
- 栃木県町村議会議長会
- 栃木県農業協同組合中央会
- 栃木県バドミントン協会
- 栃木県ハンドボール協会
- 栃木県美容業生活衛生同業組合
- 栃木県保護司会連合会
- 栃木県民生委員児童委員協議会
- 栃木県薬事工業会
- 栃木県遊技業協同組合
- 栃木県ユネスコ連絡協議会
- 栃木県ラグビーフットボール協会
- 栃木県理容生活衛生同業組合
- 栃木県林業振興協会
- 栃木県連合青年団
- 栃木県労働者福祉協議会
- 栃木市青少年問題協議会
- 栃木商工会議所
- 栃木たばこの会
- 獨協医科大学病院
- トヨタカローラ栃木 株式会社
- 那珂川町更生保護女性会
- 中村技研 株式会社
- 那須烏山市更生保護女性会
- 那須塩原市黒磯地区更生保護女性会
- 那須南農業協同組合
- 芳賀赤十字病院
- はが野農業協同組合
- 芳賀町工業団地連絡協議会
- 平石環境システム 株式会社
- 藤井産業 株式会社
- 平成アルミ 株式会社
- 平成理研 株式会社
- 水戸通信工業 株式会社
- 有限会社 正栄社印刷所
- 有限会社 高久燃料店
- 有限会社 那須クリーンセンター
- ユーストジャパン 株式会社
- ライオンズクラブ国際協会333-B地区